

仕入価格の急騰

供給側主導の卸売価格

ライバル企業との価格競争

仕入と販売タイミングの差

価格変動リスクから**会社**を守る

経営安定化に向けた解決策のご提案

リスクのクスリ



リスク回避の仕組み

価格変動が経営を不安定にする理由

販売業者のみなさんが抱えるリスク

- ✓ 商品を仕入れたが販売価格が値下がりしてしまった。
- ✓ 仕入れ価格が値上がりしても価格転嫁できない。

流通業者のみなさんが抱えるリスク

- ✓ 在庫を抱えたまま卸売価格が値下がりしてしまった。
- ✓ 海外から仕入れ契約したが納品までに卸売価格が値下がりするおそれがある。
- ✓ 燃料が高騰して輸送コストが跳ね上がった。

製造業者のみなさんが抱えるリスク

- ✓ 原材料は値上がりしたが製品はすぐ値上げできない。
- ✓ 仕入れた原材料を加工中に原材料価格が下落。製品の値下げ圧力が高まり、ディスカウント競争激化のおそれ。製品を値下げしないと在庫を抱えてしまう。
- ✓ 原材料が安い時にできるだけ仕入れておきたいが、仕入れ費用は前倒しでかかるし倉庫も用意できない。
- ✓ 燃料代高騰でコスト増。収益圧迫のおそれがある。

生産者のみなさんが抱えるリスク

- ✓ 出荷時の値下がりですぐコスト割れのおそれがある。
- ✓ 材料・燃料の高騰による生産コスト増。

生産リスク

原材料の調達価格の変動
にともなうリスク

販売リスク

販売価格の変動
にともなうリスク

商品先物市場

東京工業品取引所
東京穀物商品取引所

中部大阪商品取引所
関西商品取引所

価格が上がっても下がっても
当初見込んだ利益を
確保できる保険の機能

経営リスクの回避

* 取引量が極端に少ない場合などにはリスク回避のための取引が機能しない可能性もあります。

仕入・換金もできる

商品先物市場の受渡を使うメリット

仕入と販路の多角化

- ✓ 従来の得意先に加えて新たな仕入・販売先の確保
- ✓ いつでも豊富な買い手と売り手

自社の裁量で価格を決定

- ✓ 大手主導の値づけからの解放
- ✓ 中間マージンを省いた値段
- ✓ 一度決めた値段はその後の価格変動にかかわらず有効

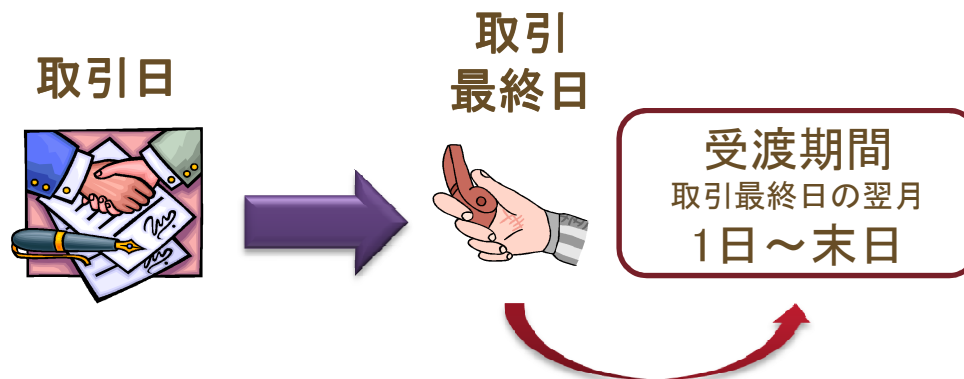
透明な価格と公正な価格

- ✓ 値づけの過程がすべて見える透明な価格
- ✓ 取引所の徹底監視のもと不正を排除し公正な価格を形成

品質の保証と確実な入金

- ✓ 買い方は**必ず商品**を、売り方は**必ず現金**を受け取れる仕組みを確保
- ✓ 公平な鑑定人が商品のサンプルを精査。不合格品には代替品を用意
- ✓ 劣化品は度合いに応じて取引所が値引き金額を裁定。差金を徴収し、買い方に支払い

現物受渡の仕組み



- ➡ 受渡の希望者は、取引**最終期限**まで買いまたは売りの契約を持ち続けることで、**現物の購入**（引取）または**売却**（引渡）が可能
- ➡ 取引の開始は最終日からさかのぼって半年から最長1年
 - 【半年】ガソリン、灯油、ゴム、小豆など
 - 【1年】貴金属（金、銀、白金）、大豆、とうもろこしなど
- ➡ 取引後、状況に応じて受渡をせずに差金のやり取りで取引を終了することも可能
- ➡ 商品によっては複数回に分けて引き取りも可能

商品先物市場ご利用の相談はお気軽に

商品先物市場を使ってみてみたいけれど…

- × 日々の仕事が忙しい
- × 難しそうでわからない
- × 社員に余裕がない



そういう経営者の方こそぜひご相談ください。
御社のニーズにぴったりの
リスク回避戦略をご提案します。

『…取引所の効用は、近遠の物価を示し、その現在と未来の高低を明らかにする。そして生産物の流通を活発にして、農工業を営む人々に安心してその業に従事させる。交通運輸が自在となった現代においては、標準価格を知らずに、物を製造し販売することは災いを蒙ることになるのではないか。(中略)その危険は、舵の無い船に帆を掲げ大海を渡るようなものである。よって、今、その舵を与え、目指す場所に行けるようになることは、取引所の利点と言える…』

福澤諭吉

出典：「福澤諭吉全集第11巻」 「時事新報—相場所の一新を望む」
(明治19年7月) 福澤諭吉 慶應義塾編纂 岩波書店1960

商品取引所と主な上場商品

【商品取引所】	電話番号	URL
東京工業品取引所 営業部 金・銀・白金・ガソリン・灯油・原油・ゴム・アルミニウム	03 (3661) 9191	www.tocom.or.jp
東京穀物商品取引所 営業部 大豆・とうもろこし・砂糖・コーヒー・小豆	03 (3668) 9311	www.tge.or.jp
中部大阪商品取引所 サービス部 ガソリン・灯油・ゴム・鶏卵	052 (209) 7890	www.c-com.or.jp
関西商品取引所 企画部 とうもろこし・コーヒー指数	06 (6531) 7931	www.kanex.or.jp

価格変動リスクの回避または現物商品の仕入れ・換金を目的として商品先物市場をご利用いただくためには、取引の受託を行う商品先物会社のサポートが必要です。

商品取引所または直接、商品先物会社にご相談ください。

JCFIA
JAPAN COMMODITY FUTURES
INDUSTRY ASSOCIATION

日本商品先物振興協会
<http://www.jcfia.gr.jp/>

☎ 03-3664-5731